

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年

2019～2020年度クラブ目標

『共に手をつなごう
ロータリーのもとで』

会長 中目 公英
幹事 兼子 英聡



ロータリーは
世界をつなぐ

2019～20年度国際ロータリーテーマ

第1616回例会

令和元年 1 月 22 日 (18:30～19:30)

白河地区 3 R C 合同新年会



スプリングウインドアンサンブル

▶第1616回例会出席状況 (R元年 1 月 22 日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	44名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	58名
Ⓒ ①の出席者数	25名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	7名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	32名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	51
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	62.75%

例会

- 開会点鐘
- ソング(君が代、日も風も星も)
- 挨拶
- 幹事報告
- 祝辞
- 来賓紹介

懇親会

- 乾杯
- 演奏会
- お開き

会場：東京第一ホテル新白河

▶例会日：第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場：白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局：〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■挨拶

○白河南RC

蓮沼一紀副会長



みなさん、あけましておめでとうございます。ご紹介にもありましたとおり、当クラブの難波会長が発熱したということで私にお鉢が回ってまいりまして、生まれて初めての開会点鐘をこの場でさせていただきました。昔、ある市議員の方が「嫌だなどと思っていることはいずれ自分に回ってくる」とおっしゃっていましたが、私は人前で話すことが非常に苦手でございます、職業柄申し訳ないのですが、そういう機会が多いので嫌だなどと思っていると、このような機会が回ってくるということでございます。ただ、職業が仏教ということでお寺の坊主でございます。これでも東京のお寺で5年ほど修行して参りました。その東京の住職が「嫌だと思ったことは積極的に喜んでやれ」ということで、今回どうやって逃げようかなとも思ったのですが、喜んでご挨拶させていただいた次第でございます。ありがとうございました。

○白河RC

田代行孝会長



みなさん、あけましておめでとうございます。今年度白河クラブの会長を仰せつかっております田代です。どうぞよろしく申し上げます。

2020年は子年でございます。「子年は繁栄」と言われるようで、今年は東京オリンピック・パラリンピック

が開催されますので、経済効果も期待されますが、一昨日は大寒で冷気が一番極まるということで、来月の初旬までは寒い時期が続くようです。水が冷たいので、味噌や醤油、お酒はこの時期に仕込むそうです。なぜかといいますと、今は設備が違うのでそんな古いことは言わないのかもしれませんが、昔は井戸水ですから、井戸水が一番雑菌が少ないこの時期に仕込むそうです。美味しいお酒を今造っているところなのだろうと思います。

さて、私の誕生日は1月5日で、お正月になるとすぐ誕生日がきます。毎回いろいろなところでこの話をするのですが、「正月は 冥土の旅の 一里塚 めでたくもあり めでたくもなし」これは一休禅師の言葉だそうで、私達の人生を旅に例えた場合、今はなかなか見かけなくなりましたが、お正月に門松を立てるということは旅の道のりの一里塚のようで、門松を立てると一つ年を取る。人生という旅も一つ終わりに近づく。この歌はこの世の無常を伝えることで、だからこそこの無常を理解した上で日々を大切に生きるということを一休禅師は教えているそうです。

それはさておき、我々はロータリアンですから、ロータリアンとして参考になるかなと思った言葉として、安岡正篤さんのこのような言葉があります。「人間はできるだけ早くから、良き師、良き友を持ち、良き書を読み、ひそかに自ら省み、さらには自ら修めることである。人生は心がけと努力です。」そういう意味では私達ロータリアンも出会いを大切にしていきたいと考えております。何につけても私も会長の職を仰せつかりまして、マラソンで言うと折り返し地点に来



ております。何とか無事に務めたいと思っております。本日お出でのみなさんにおかれましてはご指導ご協力をいただければと思っております。ありがとうございました。

○白河西RC

中目公英会長



あけましておめでとうございます。私も大寒の話をしようと思っていたので、手短かに話させていただきます。まさに今が大寒の季節で、一番寒さが厳しい時期でございます。田代会長がおっしゃったとおり、寒仕込みあるいは寒ざらしの時は良いものを造るための大切な期間であります。人間にとりましても、私たちの業界では寒中禊をいたしまして、この大寒の時期に自分の身を清めることによって、もうひと花咲かせるということで、この寒さは華やかな春を迎えるための大切なけじめの一つであります。人間においてもこの大寒の寒さの厳しさは大切なのだらうと思っております。

ロータリーのことに関しますと、サンディエゴでGETSという研修が行われておりますが、来年度のテーマが決まったと今朝My Rotaryで見て参りました。会長エレクトの皆様から後ほど説明があるかと思いますが、いの一に来年度のテーマをご披露させていただきます。話を締めとさせていただきます。来年度のテーマは「Rotary Opens Oppotunities～ロータリーは機会の扉を開く～」ロータリークラブに入ったことを一つの機会として、いろいろな花が咲くように寒い時期にグッと我慢をしたことによって、華やかな春を迎えられるようなロータリー年度になっていただけたらと思ひまして、ひとことご挨拶させていただきました。本日の新年会をみなさんと楽しみたいと思ひますのでどうぞよろしく申し上げます。

○祝辞

西郷村長 高橋廣志様



皆様、あけましておめでとうございます。令和2年、輝かしい新春をお迎えることとお喜び申し上げます。また、本日は白河3地区の合同新年会、誠にありがとうございます。皆様には長年にわたり崇高な理念、奉仕の精神のもと社会貢献をしていただきまして、心から敬意と感謝を申し上げます。

まず、昨年10月12日に台風19号が発生しました。県南地区においても甚大なる被害、そして亡くなられた方には衷心よりお悔やみを申し上げますとともに被災された皆様にはお見舞い申し上げます。最近、気候温暖化により自然災害の頻度が多く、そして災害の規模も大きくなっております。私たちは住民の生命と財産を守り、安全安心なまちづくりをすることが行政の課題であります。もう一つの課題は、少子高齢化でございます。少子高齢化によって、人材不足それから担い手不足、空き地、耕作放棄地、あらゆる面で生活のひずみが出てきております。一方で社会保障制度が右肩上がりになっております。行政課題はいろいろなニーズがありまして、行政サービスは非常に厳しい状況となっております。そんな中で、こちらにおられます皆様方は国際的な洞察力、そして英知に満ちた実践力を備えた各界のリーダーであります。行政だけではこのような課題を解決できません。どうか皆様方と一緒に地域の発展のために尽くしていきたいと思ひます。

今年2020年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。3月28日には白河で聖火リレーがあります。それを追い風に、令和2年が輝かしく素晴らしい年でありますようにご祈念申し上げますとともに、結びになりますが、各ロータリークラブのますますのご活躍、ご参会の皆様のご健勝をご祈念申し上げ、あいさついたします。本日は誠にありがとうございます。

○乾杯

県南区ガバナー補佐 中野義照様



あけましておめでとうございます。常日頃は県南区の行事・活動にご協力いただきましてありがとうございます。2月9日にIMを行います。多数の皆様にご参加申し込みいただきましたが、まだ席が空いておりますのでこれからお申し込みの方も大丈夫ですので、よろしくお祈り申し上げます。



